

令和7年度 下越地区中学校卓球大会 要項

- 1期日

令和7年6月6日（金）・20（金）・21（土）
- 2会場

新発田市カルチャーセンター 〒957-0054 新発田市本町4-16-83（0254-23-3050）
- 3主催

新潟県中学校体育連盟 下越地区中学校体育連盟
- 4共催

新発田市教育委員会
- 5主管（協力）

新発田市中学校体育連盟
- 6後援

新発田市スポーツ協会
- 7日程

	1日目	2日目	3日目
開場	8：00	8：00	8：00
受付	8：10～ 8：30	8：10～ 8：30	8：10～ 8：20
監督会議・公式練習	8：30～ 9：00	8：30～ 9：00	8：20～ 8：50
開会（開始）式	9：05～ 9：25	9：05～ 9：25	
会場準備	9：25～ 9：30		
試合開始	9：30	9：30	9：00
終了予定	16：10	16：30	14：30
閉会式			14：40～15：10

※公式前日練習 19日（木）16:30～17:45（対象は佐渡、粟島の学校）
20日（金）14:00～16:20（対象は個人戦のみに出場する佐渡、粟島の学校）
- 8組合せ

5月15日（木）午前9：30～ 聖籠中学校にて、専門委員で抽選する。
- 9チーム

監督1名（当該校教員・部活動指導員、地域クラブ活動指導者）
アドバイザー1名（当該校教員・部活動指導員または外部指導者、地域クラブ活動指導者）
選手10名、マネージャー1名（教員・部活動指導員、地域クラブ活動指導者または生徒）
計13名
- 10出場数

団体戦

：各チーム1

個人戦

：各チーム8人以内
- 11参加資格

選手は当該校の校長が承認した生徒であること。もしくは、新潟県中学校体育連盟へ参加認定を申請し、承認された地域クラブ活動に所属している中学生であること。
- 12試合方法

（1）団体戦・個人戦とも1試合11点5ゲームスマッチとする。

（2）団体戦 ○4シングルス 1ダブルス ダブルスを3番におき6名で構成する。
○男女別の**全校在籍生徒数**が4・5名でも出場できるが、オーダーは次のように置き、該当チームは監督会議で申し出る。 **5名→2・3・4・5番、4名→3・4・5番**
○**上記の場合以外、申し込み時点で選手数が6名に満たない場合は、出場資格がない。**
- 13試合日程

原則的にタイムテーブルによって、試合を進行する。タイムテーブルより遅れた場合及び遅れる恐れがある場合は、時間とコートを変更する場合がある。また団体戦は、参加チーム数によって以下の試合形式を若干変更することがある。

1日目（佐渡地区のぞく） ○団体戦予選リーグa～h（1リーグ3～4チーム総当たり）
※各リーグ1位の8チームが準決勝リーグにすすむ。
○個人戦（ベスト128まで）

2日目（佐渡地区含む） ○団体戦準決勝リーグA・B（各リーグ5チーム総当たり）
※各リーグに佐渡からの1チームが入る。
○団体戦決勝リーグ
※各リーグ1、2位チームによるリーグ戦

3日目（佐渡地区含む） ○個人戦男女（2回戦から決勝まで）
※佐渡地区12名はベスト128から参加
※個人戦は、シード権（3～8位）決定戦を行う。
- 14申込

参加校は所定用紙に記入し、5月12日（月）必着で当該郡市中体連事務局まで、参加料（一人400円）を添えて申し込む。あわせて、**デジタルデータを下記メールアドレスまで送信する。seityuu@town.seiro.niigata.jp（ファイル名は”〇〇中参加申込（卓球）”とする）**
※佐渡地区は佐渡地区大会終了後、速やかに申し込む。
- 15表彰

団体戦3位まで（1、2、3、3位）
個人戦5位まで（1、2、3、3、5、5、5、5位）

- 16県大会出場 男女とも団体戦上位3チーム 個人戦ベスト16

- 17競技上のルール及び注意事項

- ルール

現行の日本卓球ルールと本大会要項による。
- 試合球

日本卓球協会公認球のニッタク3スタープレミアムクリーン（40mm）を使用する。
- 選手

①選手は、プレー領域では短パン、ユニフォームでゼッケンを正しく着用する。
②ラケット、ラバーは正規のものを使用する。違反の物は使用できないので、ラケットは取り替え、ラバーは貼리카える。なお、ラバー破損の判定は、内部に破損箇所がある、もしくは縁なら3mm程度の破損が3つ以上ある場合をめどとする。
③ラバーを貼리카える必要が生じた時は、指定された場所で、決められた接着剤または接着シートを用いて貼ること。
④団体戦の第1試合では、選手のユニフォームをそろえることが望ましい。
⑤選手は原則的に自分の試合が終了するまでプレー領域を出てはいけない。
- ゲーム

①不正サービスと判断した時は、1回目注意、2回目からはボールストップをかけ、審判長の判断をあおぐ。特に次の2点に注意。
○手のひらから16cm以上の高さにボールをほぼ垂直に上げ、最高点から落下する途中で打つ。
○サービスが開始されてから、ボールが打たれるまでの間、ボールは常にプレーイングサーフェスよりも高い位置で、かつサーバー側のエンドラインの後方になければならない。またその間、サーバーまたはダブルスのパートナーの体の一部または着用している物で、ボールをレシーバーから隠してはならない。さらにボールが手のひらから離れたら、すぐにフリーハンドと腕を、ボールとネットの間の空間の外に出さなければならない。
②1マッチに1回1分以内でタイムアウトをとることができる。タイムアウトを要求できるのは、団体戦では監督・競技者・組、個人戦では競技者・アドバイザーである。
③促進ルールは適用しない。
④競技の進行を故意に妨げない。（タオルの使用・眼鏡ふき等は6本ごと、ゲーム間の休憩は1分以内、サービスをする前などに床に何回もボールをつかない。）
⑤団体戦のアドバイスはベンチの誰から受けてもよい。個人戦のベンチに入るアドバイザーは1マッチ1名とする。（マッチ途中でのアドバイザーの交代はできない。）
⑥ベンチ、ギャラリーなどからの応援は拍手のみとし、バッドマナーにならないように注意する。フラッシュ・ストロボ撮影は禁止。
- 注意事項

○練習は公式練習のみとする。
○飲み物をフロアに持ち込む場合は、ペットボトル・スクイズボトル等を使用する。
○選手宣誓は前年度団体戦優勝校（今年は男子＝新発田市立川東中学校）

- 18競技役員

- 競技委員長

五十嵐めぐみ（紫雲寺中学校長）
- 競技副委員長

青山 亮（紫雲寺中学校教頭） 羽貝 幾生（下越地区専門部長）
- 総務

羽貝 幾生（聖籠）

田中 正朗（猿橋）

加藤 廣章（荒川）

谷澤 祐介（村松桜）

渡邊 隆晴（両津）

長野 博十（五泉川東）

向 正（安田）

伴田 寛明（神林）

富田 美覚（本丸）
- 審判長

<後日決定>
- 進行

<後日決定>
- 記録

<後日決定>
- 審判割

<後日決定>
- 県大会申込受付

羽貝 幾生（聖籠）
- 式典・会場

<後日決定>
- 救護

<後日決定>

- 19生徒役員

式典・会場係は協力校・団体、専門委員の学校の卓球部員で構成する。

- 20その他

- ①個人戦のアドバイザーは最大で出場選手数まで登録でき、どの選手にどのアドバイザーが付いてもよい。登録された外部コーチも同様である。
- ②コーチ、アドバイザーについては当日の変更を認める。（追加は不可。監督会議で申し出る。）
- ③水泳・陸上競技での県大会出場を優先したい選手は、3日目の個人戦には出場しないこと。
- ④「下越地区大会参加における申し合わせ事項」を守る。
- ⑤緊急病院名 <大会プロに記載>